科学者のような超能力者！？

suguru

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

科学者のような超能力者！？

【Nコード】

N7375Z

【作者名】

suguru

【あらすじ】

ある日この小説の主人公、寺門宗介は、3歳の時に超能力を使えるようになったが超能力が出なくなった。が、しばらく経ち中学2年の頃超能力は復活し、科学や宇宙について勉強したら科学者のような超能力者とまで呼ばれるようになった。

第一章 超能力の始まり(前書き)

こんな小説(?)を読もうとしてくれた貴方は神だ!

第一章 超能力の始まり

1989年6月26日、深夜0時37分17.6秒、寺門宗介てらかどそうすけ誕生。父親がキリスト教に興味があるため付けた名前、ちなみに介の部分は母親が付けようとした名前の幸介こうすけから取った。

宗介自身は普通の名前だと、気にしていない。

だが、宗介は3歳の頃一人で留守番していると、突然いなくなった、いや、正確には消えた。

親達も心配で防犯カメラを付けていたらしく、カメラの映像を見ると、確かに消えたようだった。

慌てて家に帰ると、宗介は確かに消えていた、家中を探し回り、いなかったため、外も探そうとしていたら、一人では寂しいと思いつけておいたテレビを見ると・・・「速報です、先程、3〜4歳前後の幼い男の子が岐阜県、岐阜市の廃墟に突然現れました、周りの住民によると、『突然現れた』『まるで瞬間移動してきたようだ』などと述べています。では、次のニュースを・・・」親達は驚いた、確かにあれは、宗介だった。

急いで岐阜県に行こうとしたところ、父親の目の前に、突然宗介が現れた。

「宗介がいたぞ！」

「本当!？」

親達は泣いて抱きしめた。

それから数年間、消えることはなかった。

だが、宗介が中学2年の頃、遅刻ギリギリで瞬間移動でも出来たら・・・と思っただけなら急に校門の前に移動した。

この時、宗介は確信した、「自分は、超能力者」だと。と考えていたら結局遅刻してしまった。

で、自慢ばかりしていた。

そして、科学や宇宙が好きらしく、勉強をした結果、宗介は科学者

のような超能力者とまで呼ばれるようになった。

第一章 超能力の始まり（後書き）

・・・つまらないですね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7375z/>

科学者のような超能力者！？

2011年12月24日13時45分発行